

センターだより第9号
令和8年7月3日

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

検査内容変更について（お知らせ）

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目におきまして外注先の株式会社エスアールエルより、検査内容変更の案内がありましたのでお知らせいたします。
今後とも当検査センターをご利用賜りますようお願い申し上げます。

記

■ 変更日 令和8年7月3日（金）ご依頼分より

■ 対象項目

項目コード (4桁コード)	検査項目	変更内容	新	現	備考
1867800 (8678)	フォン・ウィル ブランド因子抗原 定量	項目コード (旧桁コード)	2552500 (6335)	1867800 (8678)	測定試薬変 更に伴う、項 目コード、検 査方法(方法 名)、基準 値、報告範 囲の変更
		検査方法	ラテックス免疫比濁法	ラテックス凝集反応	
		基準値 (単位)	血液型 非O型:66~176 O型:42~141 (%)	50~155 (%)	
		報告範囲	9未満、9~999、1000以上	5以下、6~99900000	
1860700 (8607)	フォン・ウィル ブランド因子 活性(リストセ チンコファクタ ー)	項目コード (旧桁コード)	2552200 (6330)	1860700 (8607)	測定試薬変 更に伴う、項 目コード、検 査方法、基 準値、報告 範囲の変更
		検査方法	ラテックス免疫比濁法	固定血小板凝集法	
		基準値 (単位)	血液型 非O型:61~240 O型:48~202 (%)	60~170 (%)	
		報告範囲	7未満、7~480、481以上	6以下、7~99900000	
		JLAC10 コード	2B480-0000-022-062	2B480-0000-022-316	
1696800 (6968)	骨型酒石酸抵 抗性酸性フォ ス ファターゼ (TRACP-5b)	基準値 (単位)	男性 変更はありません 女性 閉経前 120~420 閉経後 250~770 (mU/dL)	男性 170~590 女性(YAM) 120~420 (mU/dL)	ガイドライン に従った試 薬添付文書 記載の基準 値変更に伴う 変更

項目コード (4桁コード)	検 査 項 目	変更内容	新	現	備 考
2539000 (5662)	膵グルカゴン	基準値 (単位)	空腹時8.8～45.2 (pg/mL)	空腹時5.4～55.0 (pg/mL)	測定試薬変更に伴う、基準値、報告範囲、備考欄の変更
		報告範囲	3.0未満、3.0～1990、2000以上	3.5未満、3.5～999999.9	
		備考欄	  指定の容器(PAP)に採血し、よく混和させ、1時間以内に低温(4℃)で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。溶血でのご依頼は避けてください。	指定の容器(PAP)に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。	
1690100 (6901)	ハプトグロビン	項目コード (4桁コード)	2552300 (6331)	1690100 (6901)	測定試薬変更に伴う、項目コード、項目名称、検査方法、保存(安定性)検体量の変更 項目構成変更に伴う変更
		項目名称	ハプトグロビン(型判別)	ハプトグロビン	
		検査方法	TIA	ネフェロメトリー	
		保存 (安定性)	冷蔵(28日)	冷蔵	
		検体量	0.6mL	0.5mL	
		報告範囲 (単位)	分画1:Hp濃度: 1未満、1～99900000 (mg/dL) 分画2:Hp型判別:— (—)	親:ハプトグロビン: 10以下、11～99900000(mg/dL)	
		JLAC10コード	5C040-0000-023-061	5C040-0000-023-063	
2539900 (5670)	レニン濃度 (ARC)[CLEIA]	材料	血漿、血清	血漿	有効材料(血清)の追加 検査方法、保存(安定性)は代表材料と同じです 代表材料(血漿)に変更はありません
		基準値 (単位)	血漿:変更はありません 血清:2.21～39.5 (pg/mL)	血漿:2.21～39.5 (pg/mL)	
		採取容器	血漿:変更はありません 血清:生化学	血漿:PN2、PN5(IBC)	
		JLAC10コード	血漿:変更はありません 血清:4Z020-0000-023-052	血漿:4Z020-0000-022-052	
2545600 (5866)	アルドステロン [CLEIA]/レニン濃度比	材料	血漿、血清	血漿	有効材料(血清)の追加 検査方法、保存(安定性)は代表材料と同じです 代表材料(血漿)に変更はありません
		基準値 (単位)	アルドステロン (CLEIA) 血漿:変更はありません 血清:4.0～82.1 (pg/mL) レニン濃度 (CLEIA) 血漿:変更はありません 血清:2.21～39.5 (pg/mL) アルドステロン(C)/レニン濃度比 血漿:変更はありません 血清:20未満	アルドステロン (CLEIA) 血漿:4.0～82.1 (pg/mL) レニン濃度 (CLEIA) 血漿:2.21～39.5 (pg/mL) アルドステロン(C)/レニン濃度比 血漿:20未満	
		採取容器	血漿:変更はありません 血清:生化学	血漿:PN2、PN5(IBC)	
		JLAC10コード	血漿:変更はありません 血清:4D122-0000-023-919	血漿:4D122-0000-022-919	

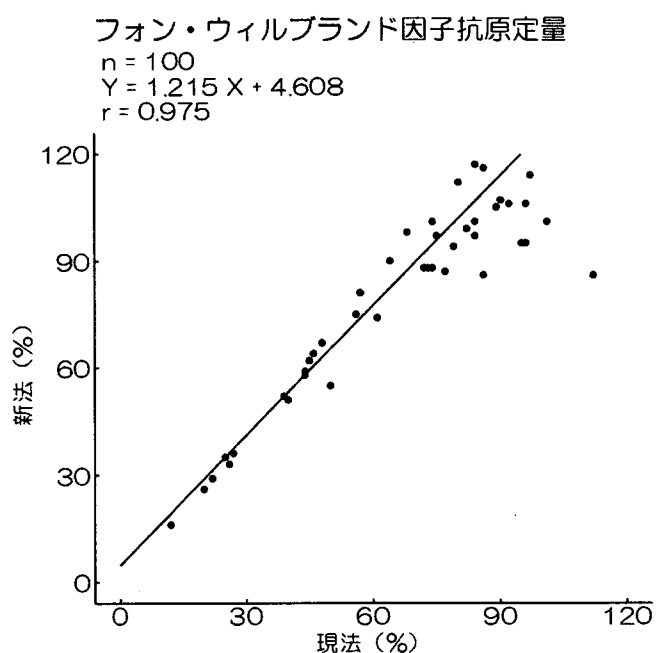
● フォン・ウィルブランド因子抗原定量

試薬販売終了のため測定試薬を変更します。
これに伴い、検査方法名、基準値、報告範囲が変更となります。

▼ 現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード (4桁コード)	2552500 (6335)	1867800 (8678)
検査方法	ラテックス免疫比濁法	ラテックス凝集反応
基準値(単位)	血液型 非O型:66～176 O型 : 42～141 (%)	50～155 (%)
報告範囲	9未満、9～999、1000以上	5以下、6～99900000

● 相関図



● 参考文献

測定法: Stufano F. et al: Haemophilia 20(1):147～153, 2014.

● フォン・ウィルブランド因子活性(リストセチンコファクター)

感受性が改善される測定試薬に変更します。これに伴い検査方法、基準値、報告範囲が変更となります。

▼ 現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード (4桁コード)	2552200 (6330)	1860700 (8607)
検査方法	ラテックス免疫比濁法	固定血小板凝集法
基準値(単位)	血液型 非O型:61~240 O型:48~202 (%)	60~170 (%)
報告範囲	7未満、7~480、481以上	6以下、7~99900000
JLAC10コード	2B480-0000-022-062	2B480-0000-022-316

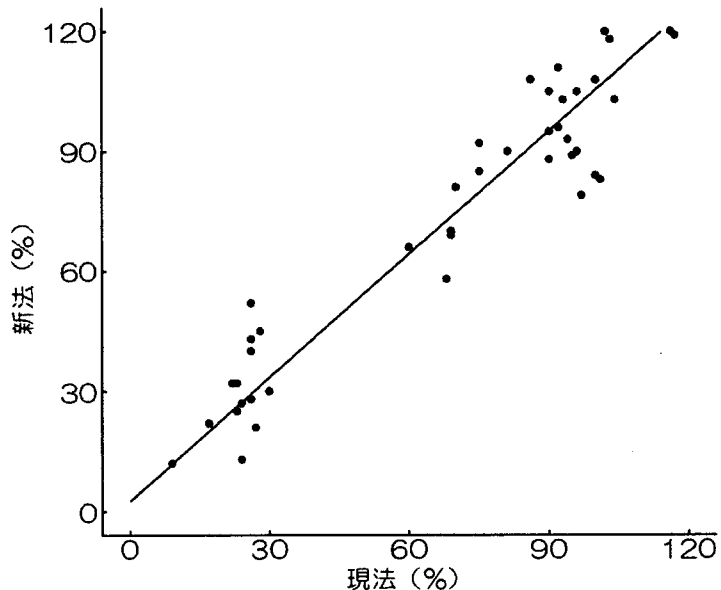
● 相関図

フォン・ウィルブランド因子活性(リストセチンコファクター)

n = 44

$Y = 1.029 X + 2.514$

$r = 0.956$



● 参考文献

測定法: Stufano F. et al: Haemophilia 20(1):147~153, 2014.

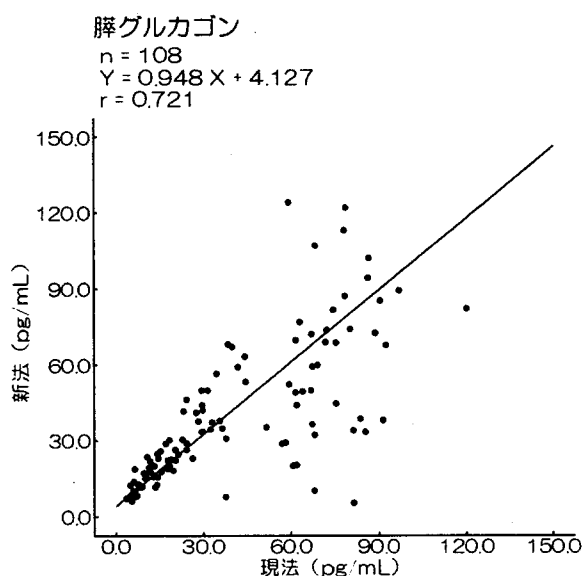
●膵グルカゴン

試薬販売終了のため、測定試薬を後継品に変更します。これに伴い、基準値、報告範囲が変更となります。

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
基準値(単位)	空腹時 8.8～45.2 (pg/mL)	空腹時 5.4～55.0 (pg/mL)
報告範囲	3.0未満、 3.0～1990、2000以上	3.5未満、3.5～999999.9
備考欄	指定の容器(PAP)に採血し、よく混和させ、1時間以内に低温(4℃)で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。<u>他項目との重複依頼は避けてください。溶血でのご依頼は避けてください。</u>	指定の容器(PAP)に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。

●相関図



●参考文献

測定法: 北村 忠弘, 他: 医学と薬学 82(4):229～239, 2025.

[illegible]

▼現法と新法の比較

変更内容	新	現
項目コード (4桁コード)	2552300 (6331)	1690100 (6901)
検査方法	TIA	ネフエロメトリー
保存(安定性)	冷蔵 (28日)	冷蔵
報告範囲	親:－ 子1:Hp濃度: 1未満、 1～99900000 子2:Hp型判別:－	親:10以下、 11～99900000 子1:型:－
検体量(mL)	0.6	0.5
JLAC10コード	5C040-0000-023-061	5C040-0000-023-063

ハプトグロビン

測定法:伊藤 忠一:検査と技術 22(5)増刊号:42~43, 1994.

臨床検査センターに関するお問い合わせやご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。
連絡先：鹿児島市医師会臨床検査センター（０９９）２２６－８８２７